

特別指定廃止を 早期に課題整理目指す

塩貝 建夫 議員(共産党)

①入札制度改革の具体化について三問問う。②同和特別枠扱いの「地域業者」指定による条件付

③元請と下請の請負受注に対する透明性を高めるための市の役割について。市長 ④「地域業者」の扱いについては現状のままでは認識していない。出来るだけ早期に課題の整理がされるよう努力していきたい。

⑤来年度少人数学級を実施すべきであるが、どう考えているのか。教育長 次年度も少人数授業を中心にさらなる充実、発展を図りたい。

⑥健康づくりの観点から、新たな教室、講習会を開設せよ。教育部長 ⑦今後も勤労者対策として運営を考

⑧「地域業者」の扱いについては現状のままでは認識していない。出来るだけ早期に課題の整理がされるよう努力していきたい。

⑨健康づくりの観点から、新たな教室、講習会を開設せよ。

⑩健康づくりの観点から、新たな教室、講習会を開設せよ。



市営住宅三山木団地の建設現場

循環型社会の構築を 市民の参画を願う取組む

松村 博司 議員(一新会)

①環境保全に対応したリサイクルプラザ建設に伴う循環型社会の構築に向け、市民と行政がともに学び実践できる施設になるよう、各種団体や一般市民が参加した運営委員会の設置、市民中心の運営ができる取り組みを



平成15年7月に稼働した福知山市のリサイクルプラザ

が一体となり取り組む課題と考える。プラザの運営は、市民の参画を願うリサイクル工房、リユース活動など3Rの推進

②ISO認証システム導入の必要性は、省資源・省エネルギー等の直接的な面はもちろんだが、事業全般の中で改善を。経済環境部長 自治体における環境ISO取得

③防災対策と緊急災害時等の計画、避難誘導と避難訓練さらに災害時の避難勧告等の基準は。総務部長 予知対応や情報伝達の確保などが必要。防災マップの周知徹底をはじめ防災意識の高揚と、実践的な実務の習熟を図り地域ごとに訓練

啓発・研修・学習会の開催等の取り組みにも携わってみたい。

④草内一丁池の全天候型多目的グラウンド整備の進捗状況及び普賢寺方面の多目的運動広場等の設置と計画は。

⑤草内一丁池の全天候型多目的グラウンド整備の進捗状況及び普賢寺方面の多目的運動広場等の設置と計画は。

を実施。防災対策基本法が改正され市町村長に災害の避難勧告、指示の権限が与えられた。今後の研究課題としたい。

⑥草内一丁池の全天候型多目的グラウンド整備の進捗状況及び普賢寺方面の多目的運動広場等の設置と計画は。

⑦草内一丁池の全天候型多目的グラウンド整備の進捗状況及び普賢寺方面の多目的運動広場等の設置と計画は。

災害時に井戸の確保を 調査、研究をしたい

小林 喜代司 議員(一新会)



家庭での設置が少なくなっている井戸(飯岡地区)

①災害時の対応について飲料水と生活用水の確保が非常に重要である。本市は昔から水の良い所

であり現在も使用出来る井戸、ボーリング済みの農業用水、工業用水が多

くある。水質等調査の上非常時に使用出来るように登録、確保しておく必要があると思うが、市の考えは。

総務部長 災害時の飲料水の確保は市の上下水道施設で行う事になっていくが、二重、三重の対策が必要であり、他市の事例も参考に本市の状況について調査、研究したい。

②市道新新田辺線、新田辺駅前線は開通以来通行車両、歩行者とも非常に増加している。安全対策としての要望が地元区を始め多くの市民から出ているが、市の対応は。

経済環境部長 新田辺駅前線と国道307号線高架の側道に防犯灯を設置したが、本線の歩道に一部街灯、防犯灯がないので早急に調査し検討したい。

市道久保橋田辺線との交差点の信号機設置は田辺署に要望を重ねているが、府域全体での必要度で検討される事から今後引き続き要望したい。

建設部長 新新田辺線と新田辺駅前線の接続する急カーブについては、

農業振興は緊急課題 対処方法を検討する

井上 薫 議員(共産党)



研修用の茶園で改植する茶担い手育成塾の塾生(田辺外島)

①京田辺市17年度予算編成にあたり三位一体改革に伴う影響と対応は。市長 三位一体改革は去る11月26日に政府と

党合意の全体像が示されたが、中身については協議の場と踏まえ具体化されるので今の段階において論議することは難しい。市の予算に与える影響は、

地方財政対策の全容が不明であり予測することは困難である。指摘の国民健康保険に関しては、三位一体改革の対象としないこと、医療保険制度改革については、社会保障審議会医療保険部会であ

り方を研究することであり、政府の対応は遺憾であると言っている。17年度予算の目標として、財政健全化、都市経営、市民参画の視点を立った予算編成を考えている。

②日本の食料と農業は、消費者は、BSEの発生や産地の偽装、輸入食品の農薬残留など食の安全や品質への不安不信、生産者は輸入農産物の氾濫と生産者価格の低落、台風災害など経営の先行き不安である。よってその対策を求め。

市長 農業を取り巻く環境は非常に厳しい。農業政策(中間論点整理)は、担い手に絞った集中的、重点的な施策として実施されるようである。

市道久保橋田辺線との交差点の信号機設置は田辺署に要望を重ねているが、府域全体での必要度で検討される事から今後引き続き要望したい。

建設部長 新新田辺線と新田辺駅前線の接続する急カーブについては、

本市では、担い手制度の弾力的運営、農地の利用集積を進めていきたい。

経済環境部長 地域農場づくりを中心に農作業受託組織を育成していきたい。ナス、茶については、年々栽培面積が減少しているがJA、生産者と連携し対処方法を検討したい。また茶園の改植などに支援をする。

⑤児童に対する安全対策が求められる。集団下校、パトロール車など地域とともに対応せよ。

教育部長 危機管理について設備の充実と体制の両面から検討、改善を加えホイッスルの配付等の対応をした。今後PTAを中心として地域関係団体に協力を願います。

教育部長 危機管理について設備の充実と体制の両面から検討、改善を加えホイッスルの配付等の対応をした。今後PTAを中心として地域関係団体に協力を願います。

教育部長 危機管理について設備の充実と体制の両面から検討、改善を加えホイッスルの配付等の対応をした。今後PTAを中心として地域関係団体に協力を願います。